

# 第21回 全日本ロボット相撲大会

「ロボマガ」記者・城井田勝仁 きい たかつひと

## 競技内容

ロボット相撲では、高さ5cm×直径154cmのアルミ製板の上に黒色の鋼板を張り合わせた土俵が用いられる。土俵を囲む俵の代わりに、幅5cmの白色線が描かれ、その外に落ちたロボットが負けとなる。

ロボット力士の大きさは幅20cm×奥行き20cmに制限され、重量は付属部品を含めて3kg以内と定められている。

高さは自由で、試合開始後の変形が許されていることから、長い腕や鋭いブレードなどを展開して、見た目の大きく変わるロボットもよく見られる。

公式の大会は、高校生に限定される「高校の部」と、老若男女を問わずに参加できる「全日本の部」の、二つが毎年開催され、それぞれ地区大会を経て、地区代表となったロボットが全国大会で横綱の座を目指す。

## 大会結果

### 全日本の部・全国大会

#### 自立型 優勝



「三豊工将軍」富田将吾 (香川県立三豊工業高等学校)

#### ラジコン型 優勝



「神星」竹野翔太 (Team-Q)

### 高校の部・全国大会 (第17回)

#### 自立型 優勝



「強勢撤去」長谷川優 (香川県立三豊工業高等学校)

#### ラジコン型 優勝



「現御神」森蔵宗 (三重県立四日市中央工業高等学校)